

**関西経理専門学校【通信】2024年度 講義要項**

科目名	学年	担当講師名	開講期間
原 価 計 算 I ・ II	2 年	石 原 淳 行	前期 I 後期 II
<b>講義の目的および概要</b>			
<p>わが国では、大蔵省企業会計審議会から「原価計算基準」が発表されている。現状の原価計算実務にマッチしない点もあるが、多くの製造業が「原価計算基準」に即した実務を行っている。このことから、わが国「原価計算基準」に即した原価計算の基礎的知識を学習し、併せて各種の検定試験の合格を目指すことを目的とする。近年の我が国企業をめぐる経済環境の激変のもとにあって、差額原価分析や戦略的原価計算（活動基準原価計算、原価企画・原価改善など）の重要性を強調したい。</p>			
<b>講義のテーマ</b>			
原価計算の理論と実務を練習問題を通して理解します。			

月	授業展開・ライセンス取得および指導要領	検定試験の種類	講義形式 学習形態	備考
4	・ 原価計算の意義・原価の費目別計算		通信講座	
5	・ 原価の費目別計算・製造間接費計算・部門別計算		通信講座	
6	・ 部門別計算・個別原価計算		通信講座	
7	・ 個別原価計算・総合原価計算 前期試験		通信講座	
8	夏期休暇			
9	・ 総合原価計算（累加・非累加） ・ 総合原価計算（仕損及び減損の処理）		通信講座	
10	・ 総合原価計算（仕損及び減損の処理） ・ 等級別・連製品の計算		通信講座	
11	・ 標準原価計算・C. V. P 計算		通信講座	
12	・ 直接原価計算・戦略的原価計算（活動基準原価計算）		通信講座	
1	・ 戦略的原価計算（その他） 後期試験		通信講座	
2				
3				

評定方法			
出席	%	単位修得試験	50 %
レポート	50 %	その他	0 %
指定教科書		参考図書	
・ 別途指定			
学習上の留意点		必要教材(使用予定機材)	
<p>通信講座を受講すること。理解できるまで何度も反復で受講すること。 レポート課題については期限内に提出すること。 単位修得試験に合格することにより単位を認定する。</p>			
学生からの質問受付E-mailアドレス(可能な場合のみ)		備考欄	
info@ast.ac.jp			